

---

---

## 固定資産奉行・償却奉行シリーズの「消費税改正」に伴う汎用データ受入形式の変更点

---

---

固定資産奉行・償却奉行シリーズの消費税改正「消費税10%・軽減税率」対応に伴う、変更点をご説明します。

- 対象製品および機能搭載バージョン
- 製品上の対応
- 汎用データ受入に関連する、お客様・パートナー様の対応  
※ 資産データ・リース資産データ・建設仮勘定データ
- 仕訳伝票作成に関連する、お客様・パートナー様の対応  
※ 建設仮勘定計上明細
- 奉行Open-DBに関連する、お客様・パートナー様の対応  
※ 資産データ・リース資産データ・建設仮勘定データ

---

### 【対象製品および機能搭載バージョン】

---

	<u>奉行10</u>	<u>奉行8</u>
・ 固定資産奉行	Ver. 3.27	Ver. 2.69
・ 償却奉行	—	Ver. 2.69

※ 上記のバージョン情報は予定のため、変更になる可能性があります。

---

## 【製品上の対応】

---

### ■ 資産データの『新税率10%』への対応

#### ● 取得価額の「消費税率」

- 汎用データに「税率」を設定していない（空白の）場合には、取得日付をもとに設定されます。

<u>日付</u>	<u>受入結果（税率）</u>
・ 2019年10月1日より前	8%
・ 2019年10月1日以後	10%

- 「旧税率」が設定された場合には、経過措置適用の資産として扱います。

#### ● 処分費用 / 売却価額 / 資産除去債務決済額 / 資本的支出取得価額の「消費税率」

- 汎用データの各日付をもとに設定されます。

※「消費税率」の受入項目はありません。常に自動判定します。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| ・ 処分費用（除売却日付） | ・ 資産除去債務決済額（履行日付） |
| ・ 売却価額（除売却日付） | ・ 資本的支出取得価額（取得日付） |

### ■ リース資産データの『新税率10%』への対応

#### ● 基本リース料 / 維持管理費用の「消費税率」

- 汎用データで、消費税率ごとの「基本リース料」「維持管理費用」項目が分かれているレイアウトが追加されています。

※ 2019年10月1日より前の期間（8%分）と、10月1日以後の期間（10%分）で消費税率が切り替わる場合は、それぞれの消費税率ごとの受入項目に値をセットします。

- 上記とは別に、「消費税率」を指定して「基本リース料」「維持管理費用」を受け入れるレイアウトも追加されています。

※ こちらの項目を利用すると、税率別にセットする項目を切り分ける必要がありません。

2019年10月1日より前の期間（8%分）のリース契約の場合は、消費税率に「8%」を指定し「基本リース料」項目にセットします。

10月1日以後の期間（10%分）リース契約の場合は、消費税率に「10%」を指定し「基本リース料」項目にセットします。

- また、消費税率が新税の施行日から切り替わるか、または経過措置を適用するか（旧税のまま継続するか）の項目が追加されています。

※ 2019年10月1日をリース期間中に迎えるオペレーティング・リース資産で、10月1日以後に消費税率が10%切り替わるか否か（経過措置を適用するか）を指定できます。

#### ● 再リース料の「消費税率」

- 上記の基本リース料と同様、汎用データで、消費税率ごとの「再リース料」項目が分かれているレイアウトが追加されています。

- 既存の「消費税率」を指定して、「再リース料」を受け入れるレイアウトも利用できます。

- また、上記の基本リース料と同様、消費税率が新税の施行日から切り替わるか、または経過措置を適用するか（旧税のまま継続するか）の項目が追加されています。

● **解約損害金の「消費税率」**

- 汎用データの解約日付をもとに設定されます。  
※「消費税率」の受入項目はありません。常に自動判定します。

■ **建設仮勘定データの『新税率10%』『8%軽減税率の取引』への対応**

● **外注契約金額の「消費税率」**

- 汎用データに「税率」を設定していない（空白の）場合には、契約日付をもとに設定されます。

<u>日付</u>	<u>受入結果（税率）</u>
・ 2019年10月1日より前	8%
・ 2019年10月1日以後	10%

● **計上明細金額の「消費税率」**

- 汎用データに「税率」を設定していない（空白の）場合には、計上日付をもとに設定されます。

<u>日付</u>	<u>受入結果（税率）</u>
・ 2019年10月1日より前	8%
・ 2019年10月1日以後	10%

- 「旧税率」が設定された場合には、経過措置適用の計上明細として扱います。

● **計上明細金額の「税率種別」**

- 新税率10%施行日（2019年10月1日）以後での8%軽減税率の取引入力のため、「税率種別」項目が追加されています。

<u>取引内容</u>	<u>税率種別</u>	<u>税率</u>
・ 軽減税率の取引	<b>1：軽減</b>	8%
・ 上記以外の新税率の取引	<b>0：標準</b>	10%
・ 経過措置の取引（旧税率）	<b>0：標準</b>	8% または 5%

- 『8%軽減税率の取引』を登録する際は、「税率種別」項目に「1：軽減」を設定します。
- 汎用データに「税率」を設定していない（空白の）場合には、計上日付と「税率種別」をもとに設定されます。

<u>計上日付</u>	<u>税率種別</u>	<u>受入結果（税率）</u>
・ 2019年10月1日より前	0：標準 →	8%
・ 2019年10月1日以後	0：標準 →	10%
・ "	1：軽減 →	8%

■ **その他の対応**

- 製品上の「税率」表記が変更されます。  
例) 「8.0%」→「8%」

## 『資産データ』

### 《お客様・パートナー様の対応》

#### ■ 資産取得データ

施行日以降、受入項目「取得価額の消費税率」には取引内容に応じて値をセットします。

- ・ 新税率の取引 → 「10」
- ・ 経過措置の取引 → 「8」

## 『リース資産データ』

汎用データ受入形式に、受入項目が追加されています。

- ・ 基本リース料 / 維持管理費用  
「税率別」項目 : 基本リース料 (10%) / 維持管理費用 (10%)  
「税率指定」項目 : 基本リース料 / 基本リース料 消費税率  
維持管理費用 / 維持管理費用 消費税率
- ・ 再リース料  
「税率別」項目 : 再リース料 (10%) / 再リース料 (8%) / 再リース料 (5%)
- ・ 基本リース料 / 再リース料  
「経過措置」項目

### 《お客様・パートナー様の対応》

#### ■ リース契約データ

##### ▼ 消費税率ごとの項目を使用して受け入れる場合

汎用データに、新たに受入記号 (受入項目) を追加します。

また、契約内容に応じて値をセットします。

- ・ 「10%の基本リース料」「10%の基本リース料 消費税額」
- ・ 「10%の維持管理費用」「10%の維持管理費用 消費税額」

##### ▼ 消費税率を指定する項目を使用して受け入れる場合

汎用データに、新たに受入記号 (受入項目) を追加します。

また、契約内容に応じて値をセットします。

- ・ 「基本リース料」「基本リース料 消費税額」「基本リース料 消費税率」
- ・ 「維持管理費用」「維持管理費用 消費税額」「維持管理費用 消費税率」

##### ▽ さらに、2019年10月1日をリース期間中に迎える資産で、

10月1日以後に消費税率が切り替わる場合

汎用データに、新たに「経過措置」の受入記号 (受入項目) を追加します。

また、値をセットします。

## ■ 再リースデータ

### ▼ 消費税率ごとの項目を使用して受け入れる場合

汎用データに、新たに受入記号（受入項目）を追加します。

また、契約内容に応じて値をセットします。

- ・ 「8%の再リース料」 「8%の再リース料 消費税額」
- ・ 「10%の再リース料」 「10%の再リース料 消費税額」

### ▼ 消費税率を指定する項目を使用して受け入れる場合

▽ さらに、2019年10月1日をリース期間中に迎える資産で、

10月1日以後に消費税率が切り替わる場合

汎用データに、新たに「経過措置」の受入記号（受入項目）を追加します。

また、値をセットします。

## 『建設仮勘定データ』

汎用データ受入形式に、受入項目が追加されています。

- ・ 外注契約金額  
「税率別」項目 : 外注契約金額（10%）
- ・ 建設仮勘定計上明細  
「税率種別」項目

## 《お客様・パートナー様の対応》

### ■ 外注契約金額

#### ▼ 既存の外注契約（8%）に、追加契約（10%）があった場合

汎用データに、新たに受入記号（受入項目）を追加します。

また、契約内容に応じて値をセットします。

- ・ 「10%の契約金額」 「10%の契約金額 消費税額」

### ■ 計上明細金額の「消費税率」

#### ▼ 『8%軽減税率の取引』を取り込む場合には、

汎用データに、新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

また、取引内容に応じて値をセットします。

- ・ 8%軽減税率の取引 → 「1：軽減」
- ・ 新税率の取引 → 「0：標準」または「空白」
- ・ 経過措置の取引 → 「」

#### ▼ 施行日以降、受入項目「消費税率」には取引内容に応じて値をセットします。

- ・ 8%軽減税率の取引 → 「8」
- ・ 新税率の取引 → 「10」
- ・ 経過措置の取引 → 「8」

---

## 【 仕訳伝票作成に関連する、お客様・パートナー様の対応 】

---

### ※『他システム仕訳連携オプション』を導入している場合

固定資産奉行V ERP から仕訳データをCSVファイルで出力し、勘定奉行V ERP 以外の会計システムと仕訳連携するオプションです。

建設仮勘定計上明細で、『8%軽減税率の取引』を登録する機能が搭載されます。

※仕訳伝票作成で、新たに「税率種別」項目が追加されます。

### 《お客様・パートナー様の対応》

- 建設仮勘定計上明細で、『新税率10%の取引』だけで『8%軽減税率の取引』を計上しない場合には、今までの形式のまま変更の必要はありません。
- 『8%軽減税率の取引』を計上する場合には、対応が必要です。
  - ・ [仕訳伝票データレイアウト設定]メニューにて、「税率種別」を選択します。
  - ・ レイアウトが変更されるため改修が必要です。

## 【 奉行Open-DB に関連する、お客様・パートナー様の対応 】

### ※『奉行Open-DB』を導入している場合

固定資産奉行V ERP から、通常の奉行DBとは別に、独立して提供される公開型データベースを利用するためのオプションです。

奉行Open-DB の以下のテーブルに、列が追加されています。

#### ■ リース契約テーブル

- ・ 基本リース料 (10%)  
基本リース料 / 基本リース料 消費税額 / 基本リース料総額 / 基本リース料 消費税総額
- ・ 維持管理費用 (10%)  
維持管理費用 / 維持管理費用 消費税額 / 維持管理費用総額 / 維持管理費用 消費税総額
- ・ 支払情報 (10%)  
支払開始日 / 支払回数

#### ■ 再リース契約テーブル

- ・ 再リース料 (10%)  
再リース料 / 再リース料 消費税額 / 再リース料総額 / 再リース料 消費税総額
- ・ 再リース料 (8%)  
再リース料 / 再リース料 消費税額 / 再リース料総額 / 再リース料 消費税総額
- ・ 支払情報 (10%)  
支払開始日 / 支払回数
- ・ 支払情報 (8%)  
支払開始日 / 支払回数

#### ■ 建設仮勘定計上明細テーブル

税率種別

### ※注意

- ・ 今回のバージョンで、列が必ず最新の状態になります。  
旧バージョンで追加された列も含めて、今バージョンで追加されます。
- ・ 例えば、Ver.3.22 で、リース契約テーブルに「会計基準」列が追加されていますが、複数会計基準で運用していない場合でも今バージョンで追加されます。  
その他、旧バージョンで追加されていた列については、奉行Open-DB のテーブルレイアウトの修正履歴をご確認ください。

《お客様・パートナー様の対応》

■ 資産データ・リース資産データの『新税率10%』への対応

『新税率10%』を集計する改修が必要です。

■ 建設仮勘定データの『8%軽減税率の取引』への対応

- 『8%軽減税率の取引』を計上していない場合、または、  
『8%軽減税率の取引』を区別する必要がない場合には、変更の必要はありません。
- 『8%軽減税率の取引』を区別する場合には、「税率種別」列で判断する改修が必要です。